京城新報

●新聞料 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢 ▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月十九日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

韓國に働きたる人物 其十二
蟹甲將軍井上角五郎（下）

▲後藤伯の韓國計畫は、時の政府の對韓策と相容れざる處があつた爲に、物に[illegible]に暗中に葬られて仕舞つたが、若し之が成立したならば、渠井ノ角の働きは慥に世に認識されたであらう。

▲渠の顏面は醜いが、天の配劑は妙なもので、渠の聲音は素晴らしく好く、辯の頗る雄なることは最早知らぬものはない、彼の今日あるは全く其雄辯の御蔭である、而して前にも述た通り、頭の明晳なる爲に何事でも分りが早い、渠と會談した人は誰でもいふ『井上さんの談はキビ〳〵して、解りが早いから愉快だ』と全く渠はそうである

▲韓人に對するにも、機智と慧敏とで、對手の腹中を洞見して、機先を制し、世辭と巧妙なる嘘とで胡麻化し、韓人をして其獨得の詭詐騙謀を擅にせしめざりしと云ふ、何と井ノ角先生は豪いものじやないか、彼を起して統監としたらどうだ、

▲後藤伯の大同團結のとき、渠は大江卓と共に帷幕の參謀で、各地を彼の雄辯で演説して廻り、亦た政論と云ふ機關雜誌で筆も揮ふた此時渠は政界の人となつたのである

△與個に賣出したのは、代議士となつて第一議會に於て、政府の純正なる味方となりて豫算案を辨護した時である、彼の懸河の雄辯を揮て滔々六時間に亘て述べ續けた、之には敵も味方も驚歎した、其間得意の毒舌を鼓して民間黨を罵倒したのである、其躰度、其抑揚、反對黨の缺隙を皮肉に攻撃する所は慥に一品である、

▲渠は何時の議會でも政府の御味方である政府の御味方と云ふよりも、寧ろ勢力に附隨するのである、總て自己中心にして自己の利害より打算する故である、本年の議會でも大同俱樂部の決議に加はらず、單獨自由行動を取つたもそれである。

▲渠は機會を捉へることに最も妙を得て居る、議院內の駈引は能く機會に乘ずることである、此點に於ては三百有餘の議員中渠に及ぶものは鮮いであらう、渠は慥に議院內の呼吸を解して居る。

▲渠か實業界に入り今日の地位に達したのは彼の雨宮敬次郎の庇蔭である、渠の機敏にして物譯かりの速いのは、商界の怪傑雨敬の氣に投じ、此奴使へるわいと云ふので北海道炭礦鐵道會社の理事にしたのである

▲炭礦鐵道會社の理事にして仕事をやらせて見た處、成程間に合ふ其任務を整理する恰も快刀亂麻を斷つ如くである、道廳鐵道敷設部との交渉等簡明直截、其手腕の鋭利なる敵も味方も感歎したものである、

▲雨敬は渠に取りては大恩人である、斯の如き關係なれば、今では兩者の間は切ても切れぬ主從の關係になつて居る、何を云ふにも井ノ角の人格は極小で從て賤劣なる所がある、これが渠の欠點であらう。（完）

●慶北浦項の近情

過日韓南滊船の東北基點及び寄港地調査の爲め光濟號に便乘し迎日灣に赴きける釜山稅關の柴田猪三氏の談話は左の如し

▲迎日灣の狀況　同灣は灣口廣濶に過ぎ風波を防ぐの好地點なく投錨地として僅かに斗浦湖（浦項より約一里）あるも灣入淺く三乃至五十間位の防波堤を設くるにあらざれば荷役を爲し難しとのことなり從來浦項より輸出する貨物は兄山江に於て爲しつゝあるも江口の堆砂多く浚渫の必要あり若し浚渫し得ば小蒸なる時を見て浦項より斗浦湖まで韓船に依り運送し置くの便利あれば或は好果を從るに庶幾からんか

▲浦項の現狀　目下本邦人百二十八人韓人四百戸千五六百人ありて一時暴徒の爲め引揚げし者も尠なからざりしが軍隊の配置後第十四聯隊第十一中隊本部を置かれ附近も稍平穩に復せし爲め追々渡來するもの增加せり日本風家屋は淡盛商會其他三四戸にして他は皆韓人家屋を借入れ居れり釜山商人にして支店を設け居るものは淡盛商會中村俊松桐岡岩崎等にして淡盛商會は浦項及び蔚山の二箇所にて蜑婦三百人を使用し鮑の採收及び罐詰を營み居れり其他神戸岸上彌作大塚昌次郎兩氏は合同して彌昌商行を組織し附近の土地四百町歩を開墾し農業を營み精米、豆精製造、牧草播種等を爲す目的なりと桐岡氏も漁夫二百人を使用し海鼠鮑の採取をなしつゝあり

▲浦項の製鹽業　迎日灣澳底一帶は殘らず砂濱なるが二里餘の海畔に韓國式鹽田四十八個ありて附近の需用に應じつゝあり

▲物資の集散　當地に集散する物貨は米豆牛皮鮮等主要なるものなるが豆は五萬石位にして年々二三割の增加を示しつゝありしが昨年は暴徒跳梁の爲め減少せし由米は一萬石內外にして牛皮は五萬斤位なり之等の輸出品は從來釜山二三商人の和船及び朝鮮船に依つて釜山に輸送せられ居るが順風にて四日間若し天候不良なるときは二十日以上を要する由其他靑海苔和布の產出も多く鰊は年に依り一定せず

▲浦項の將來　浦項の位置は延日に一里半興海に二里慶州六里永川十里にして若し永川慶州浦項を通じたる道路にして改修せられんには延日興海の兩郡は無論にして今日鐵道便に依りつゝある永川郡の如きも七步までは海運に依るに至るべしと故に韓南滊船の寄港と道路の改修とは確かに將來に大影響あるべし

▲浦項の歡迎會　同地にては去る十二日岡本支店に於て龜山理事官一行の歡迎會を催し在留者百二十人殘らず出席し稻田仲次氏開會の挨拶を爲し松永警察署長は同地官民を代表して謝辭を述べ龜山理事官も之れに對し懇篤なる長演説を試み盛會なりし由

●北滿の製粉事業

北滿に於ける製粉事業の活氣を帶び來りしは東淸鐵道が其全線を通じて營業を開始したる以來の事に屬すと雖該事業の濫觴たる蓋し千九百年第一滿洲製粉株式會社が資本金三十八萬留を投じ哈爾賓に於て其事業を開始したるにあり而して同會社の創立は忽ち淸商が小麥買占策となり遠近市場の活氣を喧傳し從來餘り著しからざりし小麥の播種を劇增せしめ俄かに原料の膨脹を來し會社製粉所が一ヶ年の製產高百萬布度に達するも尙穀類に不足を感せざるの盛況を呈せしが當時需要の割合は實に軍隊に五割淸國人に一割五分露國人に三割五分の比例なりき千九百二年松花江蒸氣製酒會社が第一の露國製粉所として表はれたり而して其一年に於ける製粉高は平均二百五十萬布度に及べり千九百三年哈爾賓に於て又新に三個の製粉所創立せらる卽ちホロチンセレブリヤーニコフ及び露淸製粉會社にして一年の製粉量は實に三百萬布度に至りべ、オゾウサンスキ蒸氣製粉所は基本金三十萬留を以て其業務を開始し一年の製粉高平均百五十萬布度を見たり斯くの如く北滿に於ける製粉業は年々增加し來りしが現在に於ける狀況を示さば左の如し

一、滿洲連合製粉株式會社
此會社は當哈爾賓に於ける三個ソチヤーチヤレに於ける一個双城堡に於ける一個合計六個の製粉所が連合したるものにして株主は當市の市會議長エ、ヤル、グを始めゴンドエフドプローフ、カツーリスキー、アールコフ等として其製粉力は一晝夜四萬布度の小麥を挽き得

、露國製粉合資會社
フー、チヤーチヤンにありて一晝夜七千布度に至る小麥を製粉し得資本金八拾萬留にしてブリコーノフ、クリチーギン、クラエフ等は株主とす

三、ボロチン製粉所
齊哈爾賓市にありて一晝夜四千布度以上の小麥を製粉し得資本金四十萬留とす

四、第一滿洲製粉會社
哈爾賓にありて一晝夜二千五百布度の小麥を製粉し得資本金三十萬留とす

五、ツリーシン製粉所
哈爾賓にありて一晝夜三千布度の小麥を製粉し得資本金三十萬留とす

六、ブラゴウエスタスンズク製粉合資會社
哈爾賓にありて一晝夜千五百布度の小麥を製粉し得資本金十五萬留とす

七、一面坡製粉合資會社
一面坡にありて一晝夜三千布度の小麥を製粉し得資本金三十五萬留とす

八、ユイスインド製粉所
海林にありて一晝夜千二百布度の小麥を製粉し得資本金十二萬留にして支那人の所有とす

九、イムシエーチンキー製粉所
阿什河にありて一晝夜七百布度を製粉し得資本金六萬留とす

十、双城堡製粉合資會社
双城堡にありて一晝夜二千布度を製粉し得資本金十五萬留にしてバンダレニコ、ポイトーフは其株主とす

●日本海軍の進步

我軍に於ては戰後專ら術科の研究に力を致し、術及び水雷術等に就て著大の進步を伊し好成績を示しつゝあることは屢々記したるが更に一方武器に對し細大の改良を加へたるの結果日本海々戰當時に比し其進步殆ど隔世の觀あるに至れり試に其一二を擧ぐれば魚形水雷にたける距離の延長、速力の增加、障害物迂回的中等を始め彼沈設水雷に就て或特種の發明により歐米先進國を凌駕したるの一事は確に誇るに足るものあり又戰局に對し尠なからざる効力を示す無線電信の進步については彼の遞信省の示す有効距離百廿浬に比し同日の談にあらず殊に無線電信にては電波混同の虞ありて他より受くる障害を防禦する途に就ては斯界の一問題なるが此度我海軍にて發明せる水中信號は最近歐米に於て發明せるものに比し殆ど完全無缺といふべく距離增長と他の障害を蒙らざる點に於て海軍に貢獻するところ莫大なりといへり

●海運の近狀

金融界は依然緊縮狀態を持續し定期界も亦爵々たる情勢を保ち加之商品市場も大勢は依然沈衰の狀況を呈して總に織物類、食料品、工業原料肥料等の端境商品のみ多少の活氣を帶ぶるに過ぎざれば海運は例年の昨今に比して到底不況たるを免れず從つて多額の船費を要し比較的收益少き社外滊船は今尙所々に停繫の儘時機の到來を期待せるもの十數隻ありて運賃は依然安含みに保合ひチヤーター界は未曾有の寂寥を極め傭船料は殆ど實費近く下押しつゝあり尙航路別に近狀を略記せば米國線は輸入減少の爲多少船腹を剩し印度航路も濠洲航路も漸次積載量を減じつゝあるに反し歐洲線は政府買附品の爲臨時船を特發するの狀態を示し蘭貢、西貢、瓜哇線等は追々寂寥期に入り北淸及び上海線は多少の活氣を帶び韓國沿岸浦鹽、臺灣線等には格別の變化なく東廻中國線等期節的荷客を迎へ其の他北海道方面には郵船社外船を始め多少の滊船集合しつゝありと

●暴徒討伐情報（軍司令部着）

△江原道襄陽分遣所の下士以下四名は四月二日約三十の賊と襄陽西南方約二里の地に於て遭遇し其一を殪す

△江原道長箭店より出したる上等兵以下十三名は四月十三日同地方約六里泥峴附近に於て約三百の賊を夜襲し其三を殪し翌十四日尙此賊を追躡して北倉附近に至り交戰三時間にして潰亂せしめ十數名の負傷者を生せしむ

△江原道平康守備隊より出したる斥候は四月四日同地西北方箕山里の北方約三里の地に於て約三十の賊と遭遇し之を潰亂せしめ其三を殪す

△江原道伊川守備隊より出したる下士斥候は四月七日同地東方王洞附近に於て約二十の賊を討ち其六を殪し十を傷く

△平安北道厚昌附近の賊は漸次增加し其數約四百八十に至り同地を距る一里の地迄前進せりと依て江界守備隊を該地に殘置し交代の爲め新に派遣し四月十六日を以て江界に到着する筈の討伐隊と協力して之を討伐すと云ふ

●痘瘡患者統計

本年一月以降本月十六日に至る間に內部衞生局に報告せられたる全國の痘瘡患者は左の如し

發生地方		患者	全治	死亡
京城	日人	七四	四二	二二
	韓人	四	二	—
水原	韓人	六四	三〇	三三
仁川	日人	一	—	—
揚州	韓人	一	—	—
忠州	同	三〇	二二	五
淸州	同	五	—	—
公州	同	六	—	—
順天	同	五七	三三	八
釜山	日人	六一	三一	一四
大邱	韓人	六	三	一
平壤	日人	一	—	—
	韓人	六	三	—
全州	韓人	四二	二	二
鴻山	同	一	—	—
群山	同	四二	一二	六
木浦	同	七〇	—	—
古阜	同	一六	六	六
海州	同	一六	—	—
馬山	同	一	—	—
松禾	同	二	—	—
元山	日人	一	—	—
	韓人	一	—	一
城津	同	一	—	—
瑞興	同	一	一	—
金城	韓人	二	一	一
寧邊	同	三〇	一	—
新義州	韓人	一	—	一
合計	日人	一三八	七三	三六
	韓人	四〇五	一一六	六四
	計	五四三	一八九	一〇〇

春季雜詠　春の舍主人

春雨

野への花川への柳いろ〳〵にそめわけてこそ春雨のふれ

春懷舊

人といはゞやこの花の如にはへさてうゑし櫻に昔しぬはゆ

小說　絃のみだれ（百二十一）　永井櫻園

と、有繁に愛惜の絆に縛され、抱緊めく歎くのである。

かくては果じと氣を勵まし、

『お縫、モウ此まゝ殺すが餘波は無いか。』

云ひつゝ短刀スラリと拔いて逆手に持つた此刹那、戸外でワツト聲を上げて泣きながら、矢庭に飛び込む人がある、

夫婦は意外の泣聲と、以外の物音に手早く短刀秘して、お縫が先づ玄關に駈け出せば飛込むだ人は、磐臘はしつ、

『早まるな、早まるな、早まつて取返しの就かん事をして與れるな、私が惡かつた私が惡かつた、私が惡かつた、どうか短氣な事を爲て與れるな。』

と、駈け出たお縫に目も觸れず山田の居る四疊半の室に入つて來た、山田は慌てた樣子もなく、靜にその人を見れば、養父勇五郎が涙を零しながら慌て、

『山田さん、どうぞ短氣を出さないで下さい、樣子は外で殘らず聞いた、金子が出來ないそれゆゑに、夫婦別をすのが厭だと云つて、親子三人が死んで了はうといふのは尤りやア有理な事だ、モウ金子も何も要らないから、どうか死ぬなんと云ふ惡い量見を出さないで下さい。いくら私が剛慾だつて子の可愛い事も知つて居れば、孫の可愛い事も知つて居る、殊に此の年齡になつて誰を便りに老先を送ると思ひなさる、生さぬ間でも襁褓の中から育て上げたお縫一人が、天にも地にも唯た一人の杖柱、そのお縫に死なれたら、いくら頑固なこの親爺もモウ現世に生てる望はありません、實の所を白狀すれば、五十圓の金子が無ければ無いで濟されない事は無いけれどその處がそれ人間の欲と云ふもので、お前さんなんぞは筆の先で稼ぐ人だから、百や二百の金子は雜作なく出來るであらう、出來るなら貰つて、少しばかりの藥代を拂つたり氣樂に正月を迎へやうと思つたのが、私の量見違ひ、成程考へて見りやア、節季推詰つてから、五十圓と云ふ金子が、然う容易く出來やう理が無い、今夜も實は貰ふ意で先刻來る事は來たけれど、何だか家內でシクシクと泣聲が聞ゆるから奈何した事かと、聞くとなしに樣子を聞いてると、思ひもよらぬ親子三人が死なうと云ふ相談とりやア私が惡かつたと今日と云ふ今日、始て六十年の間、我を通した角が折れて、無理を云ふまい、酒も愼まうと、お前さん等夫婦の心を察して、これ見て下さい、鬼の目にも涙ざ云ふが、私のやうな頑固な親爺も貰泣しました。モウこれからは那麼無理も言はねば難題も持ち掛けない、どうか孫を大切に、この爺親が一生のお願ひでございます。』

と、持つたる手拭鷲摑みにして、目を擦りながら物語つた。夫婦あまりの意外に夢かとばかり顏見合せたが、山田は抱いたる小兒をお縫に渡し。

『能い所へお出で下さいました、今一歩遲ければ、モウ此の子の生命は無い所でしたお聞き下すつたなら、今更繰返すにも及びませんが、恥かしながら約束の金子が、何程奔走しても出來ませんので、金子の出來ないその時は、お縫を連れて歸ると仰つたゆゑ、此の兒を棄てゝ歸つて行くのは死んでも可厭だと言ひますから、それぢや寧その事生てお互に辛い思ひをするよりか、親子三人一緒に死なうと、かゝる次第に成り行きました、誠に面目もございません。』



伊藤統監に與ふ

京城新報

大勳位公爵伊藤博文閣下、匹夫にして位人臣を極む、此點に於ては古往今來豐臣大閤の外其匹儔を見ず、閣下亦榮なりと云ふべし、

閣下は異に社會の寵兒なり、若より閣下の處世に巧慧なるの致す所と雖も、閣下の材幹識量、德操のみを以ては到底今日の進境を開拓する能はず、必ずや順潮の後役によりて知らず茲に至れるは明也、所謂棚より落ち來る牡丹餅的の好運に弄れたる也、之れ閣下に對する世の通論也、

閣下も亦深夜人眠り、萬籟寂たるときに於て、胸に手を按し往時を追懷すれば更に其感深からむ、閣下よりも德操高く、膽識材幹の優越せる人にして、逆境に沈淪せしもの尠からず、余輩は今之を揭て比較論評するの遑あらずと雖も、世間識者の間には既に識認せられたる定評也、

然れども余輩は閣下が幸運兒たるが爲に、閣下の尊位を輕んずるものにあらず、成功者の尊榮として大なる敬意を拂ふもの也、閣下の背後には常に順潮の援あり、斯る幸運の人にして韓國の統監となる、斯國の前途や光榮あらむと夢想せるものあり、斯る迷信を抱ける閣下崇拜者あり、亦以て榮なりとすべからずや、

余輩は閣下の寵兒たるを知る、然れども閣下の成功は其事業に非ずして、閣下一身の成功なるを如何せむ、之を想へば閣下の統監たることが、帝國の發展に於て到底樂觀すること能ばざる也、

公人としての閣下を熟ら〳〵研究するに、閣下には大なる美點と大なる缺點の兩面を有することを見る、遠く溯て研究せざるも尙は世人の記憶に新なる近例に依りて、閣下が公人として此の兩面を有することを立證して餘りあり、

閣下が敗餘の內閣を退くに當り、閣下に伏奏して、大隈板垣の兩伯を推薦して政黨內閣を組織せしむ、此時に於ては民間政黨の氣運隆盛にして、之に抗するの愚を悟りたると、一は山縣有朋に對する面當てとによりて此快擧に出でしならむも、兎に角之れ閣下の雅懷より出でたる美德なり、斯の如きことは他の元老の到底企て及ばざる所也政黨內閣にあらざれば、代議政治を行ふ能はざるを見るや、自由黨を我手に收めて政友會を組織し、憲政有終の美を成さんと呼號せり、然るに忽ち黨內の軋轢起り、渡邊國武と星亨の喧嘩に手を燒き、亦星亨公盜事件に遭ひ、星亨よりは威喝せられ殆ど爲す所を知らざるに至る、漸くにして渡邊を黜け、星亨を誡り稍鎭まるに至れり此際に於ける閣下の煩慮は傍觀するもの皆氣の毒に思ひしなり、斯くする中に桂總理の拜み倒し政略となり、聖意下り憲政有終の美を呼びたる舌根の未だ乾かざる間に政友會を後にして樞密院議長となる、之れ閣下の意志薄弱にして盤根錯節の器にあらざるを表明して余りあり、之れ閣下の大なる缺點なり、

斯く觀察し來りて、統監としての閣下を想見す、余輩は閣下の統監たるに樂觀するの勇氣なし、閣下の性格として長白山頭埋骨の覺悟あらむ、然れども閣下が意志の薄弱なる到底反覆常なく惡賢き韓人に愛憎を盡かして逃げ出すの時必ず來らむ、而して閣下が赴任以來兎角に斷を缺くも之が爲め也要するに閣下は眼識の人にして、手腕の人にあらざるなり、韓國現時の狀態は斷行の時機に際會せり、閣下にして其經歷が語る如く其手腕を缺ぐに於ては、須らく勇退して適材に待たざる可らず、若し閣下にして飽迄其志を貫徹せんと言はゞ、余輩亦た何をか言はむ、唯閣下が前途の施設を監視せんのみ、閣下夫れ如何の決心ある乎、

●漢城便り

▲統監歸任第一着の事業が本日の園遊會に御座候鳥歌ひ花笑ふの候に於て此の催しは必ず成功するならんと存候勿論伊集院中將への御馳走には有之候得共同時に京仁官民への御土産と解釋致すべきものと存候

▲官人諸君は別として居留民への御土產は摸擬店の餅や汁粉や蕎麥にては事足り不申候居留民が公に期待致候御土產は暴徒の鎭定案に御座候若しも公にして暴徒鎭定案を有せずして歸任せられたりとすれば居留民の失望は玩具を與へられざりし子が父に對する失望よりも以上ならんと存候

▲伊藤統監の發意により韓政府に內閣以上の政務機關なる元老團を創置せらるゝとの事に御座候而して暴徒鎭定等の如き最重政務は此機關に因て合議決することゝ相成可申との事に御座候

▲統監は久敷反目の間柄なる太皇帝をも一元老として該團に加入せしめらるゝとの事に御座候此は一寸面白き思付にて平素政務に渴し隱居生活を絕体に嫌はらるゝところの太皇帝を善用するには或は官敷を得たるの道なるやも知るべからずと存候

▲道がは太皇帝智慧者なれば統監の勸を受たりとて直ちに元老團加入を承諾せられざるやも知れ不申候併し根が政務好きのお方なれば案外の乘氣になりて進んで働かるゝことゝなるやも知れ不申候藤公にして太皇帝を善用せば暴徒は立所に鎭定致すことゝ存候

▲記者は金利の高下を以て政治の良否を卜する者に御座候統監府設置前と今日とに金利の相違無之候之を以て見るに統監政治の效果は何れに有之候や甚だ相迷ひ申候

▲同業朝鮮タイムスは五八銀行攻擊に就て發行停止の厄に罹り候記者は同紙に向つて同情の念を禁ずる能はざるものに御座候若しもタイムスの記事にして治安に妨害ありとすれば五八の存在は一層治安に妨害ありと被存候之識者一般の說に有之候

東京電報

▲沈沒船引揚げ

關門海峽の沈沒船引揚げは遞信省の手にて着手する事となれり

▲東洋協會の知事招待

東洋協會は本日各地方官を招待し桂會頭より拓殖會社將來の方針其の他に就き演說せり

▲廣東の排日貨

廣東の日本品排斥再燃し香港にも波及して形勢容易ならず(以上十七日發延着)

各地電報

▲暴徒の襲來

昨日正午頃丹城郡丹城(距晉州五里)に暴徒襲來の報あり當地警察署より今朝日韓巡查五名を派遣せらる(十七日晉州發)

▲暴徒四百激戰四時

討伐隊は十四日正午厚昌郡富春面富山洞にて暴徒四百と戰鬪を開き激戰四時間半の後追ふ賊の死者五十捕虜二鹵獲品銃器三十馬匹二軍需品若干にして我兵戰死二負傷一尙追擊中なり(十七日寧邊發)

▲暴徒電線を破壞す

新坡、中江鎭間の電線全部破壞せらる厚昌郡にて戰ひたる暴徒の所爲なるべし(十七日寧邊發)

雜報

●韓皇室へ獻品　一昨十七日第二艦隊司令長官伊集院五郎氏より皇帝皇后へ左の物品獻上せられたり

皇帝へ　眞葛宮川香山製花瓶　一個
皇后へ　有田香蘭社製花瓶　同

●當り矢の御祝　昌德宮秘苑內に韓皇陛下の御遊戲場として新たに設けられたる揚弓場に於て過日皇帝が試みられたる一矢命中せりとて宮中にては當り矢御祝の式を行はれ去る十六日各部大臣以下陪臣等に絹反及び金圓の御下賜ありたりと云ふ

●好道園園遊會　伊藤統監が今回來韓せられたる帝國第二艦隊司令長官伊集院海軍中將を主賓として內外國人を招待して軍司令部構內好道園に於て遊園會を開催せらるゝことは既報の如くなるが其次第は左の如くなり

出入門　軍司令正門
三時　開會
四時　食堂開始
四時半　餘興及模擬店開始

●普通學校新設地　學部は本年度に於て新設すべき普通學校の位置に關し各地に人を派して調査中なりしが今回愈々左の通り確定し近々官報を以て公示せらるゝ筈なりと云ふ

京畿道　江華、驪州
忠清南道　溫陽
慶尙南道　統營、密陽
全羅北道　古阜
全羅南道　靈巖
平安北道　宣川

尙平壤に一校增設せらるゝ筈なりしも既報の通り從來の學校を擴張したるを以て一校增設と同一の結果となるなり因みに上記新設學校の校長以下日韓人職員は其選任既に內定せりと云ふ

●模範植林　農商工部にては一昨日技師五人と人夫數十名をして彰義門內白雲洞の模範植林地に各種の樹木を植付けたりと

●憲兵の配置　一昨夜仁川に上陸したる憲兵百五名(內下士五名卒百名)は夫れ〳〵十三道の派遣所に配置せられ本日出發したる筈なり

●各地の暴徒

▲全羅南道靈光郡外西面及び森南面地方に約百名の暴徒集合し民財を掠奪すとの報あり同郡駐屯騎兵下士以下十四名並に駐在巡查三名は四月七日目的地に急行し午後五時森南面台山に於て約八十名の賊團に出會し直ちに攻擊を開始せり當日は降雨激甚にして賊は頑强に抵抗して容易に退却せず戰鬪約二時間にして其の四十名を殪し二十名に負傷せしめ殘餘は長城方面に潰走せしむ鹵獲品銃二十三挺其の他武器雜品多數なり此の戰鬪に於て騎兵一等卒一名眉間に輕傷を負ひし外損害なし

▲四月八日忠清南道連山郡代谷面烏嶺に賊徒集合の報あり同郡駐在巡查は直ちに出張偵察をなすに果して約二十名の賊團あり依つて攻擊を開始し戰鬪約二十分間賊は死者二名を遺棄して潰走す翌九日附近部落搜查中更に約五十名の賊徒古峙に集合せりとの報を得同地に進行中連山駐屯憲兵の出張せるに遭ひ協力偵察に從ひ彼等の一團晩木と稱する地に於て朝食中なりしを襲ひ交戰約三十分間の後突擊を加へ潰走せしめ首魁鄭充安、文致石外二名を殪し五名を生擒せり

▲平安南道德川郡龍東面內各地に數十名の賊徒出沒し掠奪を擅にせりとの報あり同郡警察分署長白松警部は部下九名を率ひ偵察のため四月五日出發賊跡を追蹤して孟山郡を經陽德郡に入り四月八日彼等の一團約三十名雲倉の南方二里の地中里附近に在るを偵知し天明を俟つて急に之を襲ひしに彼等は周章狼狽宿舍を出で背面の松林中に入り暫時應戰せしも遂に支ふる能はず北方に潰亂退却せり賊の死者一負傷者一名なり

●暴徒討伐情報(軍司令部着報)

▲忠清北道堤川守備隊長以下十七名は去る八日校堤川西北約三里半の地に於て賊四名を捉へ翌九日更に約八十の賊を襲ひ之を潰亂せしむ賊の死傷不詳

▲江界より派遣したる步兵少隊は去る十四日厚昌東北方同田山附近に於て約四百の賊と激戰し其五十を殪し多大の負傷者を生ぜしむ我兵卒二名戰死す

▲光州守備騎兵中隊より出したる上等兵以下六名は去る十四日同地東方谷面附近に於て約四十の賊と戰ひ其五を殪せり

▲古阜守備騎兵中隊より派遣しある靈光守備隊より出したる下士以下十三名は去る七日同地東南約三里の地附近に於て約百の賊を攻擊し其四十三を殪し多大の負傷者を生ぜしむ小銃二十三其他若干の鹵獲品あり

▲去る十六日通報したる討伐隊の一部は去る十日更に賊を追擊し度支州東北方に於て十名の賊に追及し其三を殪したり

●黃海道方面の賊狀　目下黃海道方面に出張賊徒討伐中なる護衛憲兵若松軍曹以下卒八名より成る斥候隊は去る十二日午後三時海州郡檢丹面三里洞附近に於て逃走中の賊徒約十名を發見したりしも賊は達磨山を越ゆ四散したり又翌十三日午前十時頃松禾郡「チウヨオボヲ」に於て九名の賊徒を發見せしかば之と交戰しその一を殪したり

●高陽暴徒狀況　四月十四日三時頃賊魁柳春烈の率ゆる賊團高陽郡求和迎面二啤里鎭座孫敬辻宅に闖入同人を脅迫し四月十五日午前十時迄に金員及銃器の調達方を命じ立去れりとの情報に依り十五日高陽分遣所より其の約日たる五日午前上等兵六名をして同面內を隈なく搜索せしも此日は來襲の形跡なかりし同夜附近には日本鐵道工夫四名居住し居るを以て賊來襲當時の情況を聞くに十六日夜賊團二十二名銃十二挺軍刀六七を携帶し賊魁柳春烈(廿八九才)內元韓兵二名にして京城西大門方向より來り十五日午前十時迄に同里內に於て軍用金六萬兩銃二十挺の調達を命じ約一時間同里に休憩し同四時頃西北方に向ひ立去りたり同里民は其後難を恐れて戰慄の模樣あり

●愛國婦人會彙報

▲海軍軍人接待　昨十八今十九兩日軍艦吾妻以下各艦の海軍將校水兵全員の約半數宛兩日に分ち入京に付愛國婦人會韓國本部にては倭城臺紀念碑上に接待所を設けて茶菓を供することゝなり昨十八日は松井、井波、曾我、中村、熊谷、黑田、村上、佐々木、巨智部

▲島等の各夫人及本部職員民團吏員等接待に務めたり

▲永登浦發會式　永登浦にては先般來保阪瓜生等の各夫人熱心に會員の勸誘に務めたる結果百名以上の會員を得たるに依り來二十五日頃發會式を擧ぐる筈にて委員の囑託方を本部長に申請し來れり

●高等女學校の開校　民團立高等女學校は來る廿二日生徒の召集を行ふと同時に附屬幼稚園の入園式を擧行し引續き二十三四の兩日体格調查及び基本的學科筆答及び試問をなし二十五日生徒父兄を召集して入學式を行ひ授業を開始することゝなれり

●沖田氏退韓問題　大邱日日新聞社長沖田氏に向つて同情を有する各新聞記者及有志家諸氏は昨夜巴城館に集會を催ほし同氏退韓命令取消に關し協議するところありたる由なり

●水兵の觀光　目下仁川に碇泊中なる第二艦隊吾妻、千早、明石、千代田等各艦の水兵七百餘名は昨日午前八時三十分入京し倭城臺に上り愛國婦人會事務所に休憩し茶菓煙草等の接待を受け市街の光景を觀し統監府正門より統監邸を通過し歸路に出で蠟石の塔を見物し景福宮に至り園內の風色を觀覽し晝食の饗を受け午後一時景福宮發歸艦の途に就きたり本日も同時刻に七百餘名入京し觀光する筈なり

●邦人の暴徒遭難　大阪市北區富島町四十三番屋敷仁川碇泊帆船木宮丸乘組舸子橋本平次郎(二十)大阪生れ住所姓名共に不詳の男(十七)及び仁川田中持船舸子波木某(二十)の三名は元山陸行の途中去る十五日午後二時江原道芝浦を距る北方約一里半許りなる山間峽路に差し蒐るや突然左右の松林より暴徒約百名現はれ急射擊を行ひたるため波木某は右肋腹下に四ヶ所の銃創を被りて即死を遂げ殘る二名は波木を救ふの暇なく逃走し辛ふじて生命を全ふし同三時漸く芝浦守備隊に到着せるが橋本某は左の目と耳の間に盲管銃創を被り姓名不詳の男は右側下腹部に貫通銃創を受けたり此急報に接したる芝浦守備隊は直に下士以下十二名を派遣したれど賊徒は既に何れにか踪跡を晦したれば同夜午後八時波木の死體を收容して歸隊したり

●江景島の被害　四月九日午前九時頃賊十二三名船にて松家面倉洞に來り面長趙仁增を脅迫し徵收しありたる稅金四十圓及び白米二斗を掠奪し午後五時頃乘船地寺面方向へ立去れり又十一日午後五時頃賊十二名西面席毛洞方向より陸行して貧洞に來り面長趙仁增を脅迫し金三十五圓白米四斗及金巾十七尺を掠奪し同夜午前一時頃嚴浦より乘船北方に逃走せりと云ふ

●宮內官吏の賭博　別項昌德宮秘苑內の揚弓場に於ては主として扈從官吏の射的を御覽あらせらるゝを以て宮內官吏の若年輩競つて此の技を演じつゝあり然るに近來之れに伴ふ弊害ありと喧傳せらるゝ處を聞くに陪臣輩が此の技に托して數十圓の賭金をなして輸贏を爭ひ昨今に至りては御覽は第二とし主として宮中雜輩の金儲けに惡用せられ居るは皇帝の御前をも憚らず不都合千萬なりとて憤慨するものあり而して宮內官吏中此の技に長じたりと見らるゝは典膳司長金珏鉉侍從院副卿李會九にして禮式官高義秉主殿院卿李謙濟此れに次ぐと又最近の失敗者は高禮式官及び李主殿院卿勝を占めたるは金典膳司長李侍從院副卿の兩人にして其の獲得したる金員少なからずと聞く

●牟田參謀長歸任　豫て平壤地方に出張中なりし牟田參謀長の一行は十六日夕一旦歸任したり

●牟田參謀長再出發　牟田參謀長は駐劄軍副官砲兵大尉中村幸一氏及び小泉通譯生を隨へ京畿、忠清、慶尙の各道地方に暴徒狀況視察のため出張したり

●藤田軍醫監の建築視察　藤田軍醫部長は最上主計生、宮崎技師の兩氏を隨へ本日建築業視察の爲め馬山地方に出張する由

●平岡海軍中佐上京　第二艦隊參謀海軍中佐平岡貞一氏は昨日仁川より上京巴城館に投宿したり

●韓國差遣　遞信省書記官中西四郎氏は今回韓國へ差遣されたり

公人私人

△平岡貞一(第二艦隊參謀海軍中佐)　十七日仁川より來り巴城館へ投宿
△新海金次郎(海軍軍醫)　同上

近事片々

▲英雄　閑日月あり伊藤歸任の途到處に阿嬌を招て戲ると詰らぬ所に感服する者あり

▲阿嬌　にのみ英雄氣取で實際の仕事に掛ると踏躪逡巡容易に決せず閑日月とは是れ

▲禪學　流行英雄伊公も雁にかぶれて森田悟由師に傾倒し身後の引導を只管に依賴す

▲寄る　年波には伊公も亦諸行無常寂滅爲樂を感ぜしむ阿嬌と念佛どの過渡時代なり

▲巧智　なる伊公禪に歸依して野狐禪を極め込むだなら何更始末にわぬ爺どならむ

▲宜い　加減に婆娑を退き大磯灣頭濤聲松風に和する所坐禪を組むで月に嘯くがよし

▲宇佐　川中將親近士風寰へ群小利に附驥ふて煩に堪へざるべし迚拓植總裁を否むと

▲茲が　宇佐川の豪き所也渠は慥に目下の弊源を看破す眼光能く機微の間に透徹せり

▲臺灣　の秕政樺太の紊亂滿洲の亂麻は皆之が爲也前轍眼前中將の勸かざる茲にあり

▲韓國　亦此轍を履まんとす小惡を倒し大惡を蔓らせる遣方は何處も同一結果を見る

▲日本　の植民政策は現時の所にて皆失敗也在留民を度外し官憲を本位とする所以也

▲兪吉　濬々々中樞院副議長に祭り込まる强敵を利用する完用は矢張り凄い腕也

▲併し　金允植張博と相俟て樞院の實權を握らば現閣に取りては隱然たる一大敵國也

▲名實　相反すと皇城子論ず成程そうだ大東學會も開進教育會も其實に於ては政社也

▲國民　新聞の東京便に倫敦タイムスが三百廿萬圓に買收せられし黃金力に驚歎せり

▲蘇峰　先生漸く燒が廻る之れ彼自身が黃金のみ崇拜せるより三百廿萬圓に驚くのだ

▲倫敦　タイムスが三百廿萬圓計りで買はれるとはと歎ずる語句慥に蘇峰氏の反語也

▲松隈　內閣桂內閣等に就て幾何の御用料を頂きしか蘇峰氏の名聲墜落も茲に原因す

▲清國　が我に對する暴狀も久しいものだが之には背後に何時も影武者あるぞ苦々し

▲極東　の平和を攪亂するは此影武者一度は之を懲らして東洋より驅逐する必要あり

▲影武　者の赤髭共が居る間は清國政府必ず我に楯を衝く霞ヶ關邊何等の謀計がある

▲滿州　問題や韓國問題をグヅ々々して居ると時勢は一變するぞ當局の呑氣にも困る

（第三種郵便物認可）明治四十一年四月十九日　京城新報　（日曜日）　第百三十號　（三）

●泥峴の統監談（下）

「統監が歸つて來た、ツム何かするつて、何が出來るものかい」と空嘯ひて冷眼に附し去つたのは或る浪人である、「統監は狡いなア來ると直ぐ園遊會をやるさ統監は余程金があると見へるなア、京城は統監でなけりやア夜も日も明けぬなア」とは勇肌の江戸ッ兒職人の三人が浪花温泉での噺である「統監はあの廣島から連れて歸りやはつた、光菊たら藝妓はんはざないにしやはッたろう、大磯とやらに、まだ圍て居るのやたまへんか、」「いゝえ、あら遠の昔手を切らはつたそうや、手切れ金も僅かばかりで、ほんまに可愛そうやつたと、妾が知つとる人が云ふたがなア、伊藤はんはなア、飽きが來たなら、ア薄情なもんだきかいにわないな人の妾になるものじやたまへんど」「貴姐それ妾さんにしようとはよう云ひまへんから安心しなはれ」とは矢張浪花湯での淫賣婦二三人の噺である、「伊藤統監は大したものぢやのう貴君見た樣な亭主を持てば、女房も一生頭が上らない、年中縦褄を着て居にやならぬ」「た多禍奴何を吐かしやアがる、手前なんかにや己れでも勿躰ねいや、」「女は氏なくして玉の輿に乘るさいふじやないか、伊藤さんの奥さんは素と馬關の藝妓だといふじやないか、妾だつてこれでも昔は人樣に稱々云ばれたものだ、」「呆れて物が云へねえやなんだ島原あたりで士臭ひ百姓を相手にして居やアがつて、」とは僕の知つてる石工夫婦の犬も喰はぬ喧嘩である、統監も隨分種々の問題になるものだ、「統監は夏になれば亦大磯に歸るとよ、宜いなア、寒くなれば歸り、熱くなれば歸る、丸で雁と燕とを兼ねた樣なもの、只た一年でも宜いから統監の身分になつて見たいなア」とは韓國の官吏になつた腰辨らしい連中の歩き噺である、まだいくらもあるが、ここらで切り上げよう

●宋殿の大浮かれ

漢城政界のきゝものゝ一進會の大隊長淸華亭を根城として在京の本邦藝妓を片端より斬りまくり野田さんと妓共よりちやほや云はるゝ野田平の宋秉畯韓國農商工部大臣殿は昨年伊藤統監公のお供して東京に渡り久振りにて大和撫子の爲に惱める姿を見ては韓人の特有性なる助平根性ムラ〳〵と起り其處の旗亭彼處の青樓と少からぬ噂さを立て日本國中の新聞の種子となりて世界に生恥を撒き散したるも勇將の下に弱卒なし我が統監公の旗下に馳せ參したる忠義者何ぞか之れしきの噂さにて辟易すべきと蛙の面に水然も洒々と此春まで東京隈なく漁り居る中統監は愈よ長白山麓に骨を埋むべく出發さるゝくに忠義者の宋殿それ供して再び義兄き我故郷に歸らるゝものと思ひ居りしに之れは如何に其方は〻せ〳〵する樣に下手に小川を渡ふから乃公の面を潰す樣な不都合を働かんとも限らず今度の供は相成らんと江戸の眞中に捨てられたれば野田平の宋大臣糸の切れたる奴凧同前身の落付所もなく一時は途方に暮れしもさはもの師だけありて結局自由の行動が執れる獨り旅の氣樂さ此方は却て其方が結構ですとれ受して公より後れて出發し京都に立寄りて祇園の花を折り十三日は又大阪に立ち寄り西横堀の門野に投宿し十四日は外出もせず藝舞妓數名を招き陳紛韓の歌を謡ひ終日大浮かれに浮かれ翌日は此等の妓を引張りて道頓堀中座に至りて演劇を觀覽し十六日山口に向つて出發したるが馬關にてもヒヒ根性を出して大浮かれに浮かれたるならん

●外務總長のお樂み

統監府に外務總長を勸めらるゝれ役人あり伊藤統監に隨行請朝中旅中の徒然に何がな慰むべき解語の花があつたら一枝手折らんものと探す中目に止つたは新橋三河屋幸吉の養女　子（二十）と云ふ踊も達者腕達者の美人　一笑銀行子が眼元に惚れ込み木挽町待合花谷を本陣として舐戰激闘大に努め大に旅の徒然を慰め居られしが元來此の德子にセッ〳〵と通ひ逆上せ豫備大尉にて横田吉一郎（三十）とて競馬會にてシコタマ儲けた大盡の耳に入り遂は以ての外の次第なりと嫉妬の鰹逆立て一時悶着を惹起したりとの江戸より花の便り

●改悛したら善い子だ

南署黄金町に住む滋賀縣人金丸義之助（二十）は性來律義一遍の男にて惡き道樂とては何一つなく世間のものよりは當世に珍しい若者だと賞めそやされ自分も又將來の出世を樂みに切々と商買大事に勉強し居りしが如何なる譯にや近頃は惰氣勝ちにて更らに商買に精を出さず一日出ては二日休み二日出では三日休むといふ有樣近所のものも不審に思ひてお神さん達の井戸端會議の議題にもマー十那の働きものゝ義つちやんが此の頃は商買にも出ず朝から晩迄家に許りブラ〳〵して居るが別に身体に故障いあるといふ風にも見えず人も疑れば疑るものだといふ噂を飛耳子の三面記者がダン〳〵探つて見るとソレも其の筈此の働きものであつた義つちやんには近頃恐ろしい天魔が魅入りソレが爲め斯く毎日〳〵惰けて居ることゝ正に確かに明かに僞りなく判つたりサテ其の恐ろしい天魔といふは愛本町一丁目の裏の三よしのとかいふ淫賣屋のはるちやんと呼ぶまるで藝樂屋の看板を倒さにしたやうな別嬪にあらぬ屁ッピンなるがナンでも義つちやんでなければ夜も日も明けず始終義つちやんの事ばかり口にし義つちやんも亦平素はるちやんの事許り思ひ煩ひはるちやんの爲めなら親兄弟は愚か自分の命迄も投げ出すといふ逆上せ方双方熱い〳〵でます〳〵深くなり行くのみなるが義つちやんの考へでは至急はるちやんの前借金七十圓をば國の老親爺でも欺して調達し自分の温突に引き取りてチン鴨の突つき鍋に朝から巫山戲て暮したいとの理想とかいふがソンナ間違つた理想は廢しにして商買に精出し將來出世の理想を抱いた元の義ちやんに立ち歸つたら本統に善い子だよ

●難題を設けて喰逃を企つ

同じ無錢遊興しても尤足が無いから勝手にしろと尻を捲くるなどは下人の爲ることさ也智慧のある我等のすることは嶄新奇抜にして巧妙なる手段に出づるが故に料理屋が平身低頭して伸までも仕向けて呉れるのだ其の手並の程を拜ませてやらうかさ東京下谷區上根岸町居住目下仁川新日本居留地滯在の雜貨商米川德次郎（三十）は此の程當地に來り友人の竹田岩夫なる者を誘ふて新町の月下樓に登りて陽氣に大騷ぎをしていざ勘定といふ一段に至り己が帽子を密かに背中に隱くし置き大枚十圓を出して留めた帽子が紛失した此の家に泥棒を養つて居りはせぬか帽子を出さねば勘定は爲さぬと難題を持ち掛けてサア帽子を出すまでは酒を飲ますか夫れとも伸でも仕向けて呉るれば宿に歸つて待つてやるが二つに一つの返答如何にと逆捻むをかけて猛り狂ふに同樓には怪しき振る舞と見て取り直ちに巡査を呼び來つて身体調べに及ぶと帽子は衣服の背中の處に隱しあること發覺し懷中は無錢といふより詐欺取財罪人として警察署へ引き立てられ今はこれを逃るゝ術や如何にと鐵窓の下に思案にくるゝなるべし

●淫賣婦の駈込訴訟

一昨夜南部警察署へ一婦人が息せき切つて駈け來り私は福岡市呉服町中島伊八の三女サト（二十）と申す者で昨年の六月二十六日當地太平町二丁目の料理屋玉水亭こと渡邊鐵藏方へ六十五圓の前借をして酌婦に住み込みましたに處毎日毎晩淫賣をさせられるのであります然れども前借金のあることゝ故辛棒して勤めて居りました所れ客に支那人が多いので子宮病になりましたから日本人や朝鮮人なればよいが大きな支那人は病氣に觸るからた客に取らぬと云ひますとれ金さへ澤山呉るれば馬でも牛でもれ客にせねばならぬと言つて責められ此のまゝ酌婦で居れば命まで取らるるやうになりますかられ助けを願ひますとの申し出でに當人を留め置き昨日渡邊鐵藏を呼んで事實を取調ぶることゝなりしが其後如何にせしやら

▲▲▲小說豫告▼▼▼

引き續き江湖の喝采を博しつゝある小說『糸のみだれ』は名殘り惜くも爰數日の中に全篇を了り之が完結を告げんとす、依て本紙は之に代ふるに彼の帝都に於て驅肆絢爛の筆と怪奇俏拔の想とを以て、其の盛名を馳せる新進作家篠原嶺葉氏に託し「新不如歸」なる長篇を揭げんとす、思ふに其の優婉にして情致に富み流麗にして盤上王を轉がすが如き筆致は以て八道の文壇を震撼すべく、其の迂餘曲節人情の機微を穿ち、世相の眞髓を究め、情緒纏綿、波瀾あり、抑揚あるの趣向は以て滿韓の士女を惱殺すべし、若し夫れ之が節會の大要に至りては今爰に豫告せざるが却つて當座の花。請ふ須らく刮目して揭載の日を俟ち、其の內容と實質とに就て徵せられんことを

▲▲▲小說豫告▼▼▼

緊急廣告

本會加盟の各商店は五十錢以上の御買上物に對し必ず大評判の景品券を差上げる筈なるに往々此儀を怠る向きあるやに聞き込み候に就きては以來御客樣方に於て遠慮なく景品券を御請求の上若し兎や角と申立て候節は本會へ御通知被下候得ば乾度相當の處置可仕候

龍山旭橋通り
龍山實業興振會（電話二四番）

●杆提灯を打ち破る

東京市淺草區鳥越町の者にて明治町三丁目に居住する馬買入業武田岩雄（二十）と大阪市和泉町二丁目の者にて南山町二丁目に居住する木炭商中島松太郎（二十）の兩人は何所で飲みしか微醉機嫌にて去る十七日の夜十時頃本町六丁目を二人打ち連れ通行中岡野藤三郎方の店頭に揭げありし提灯を武雄が携ねたる杖にて打ち破りたるより店主の藤三郎が飛び出でこれと口論する所を松太郎が横合より藤三郎の横面を打ち撲り爰に一場の大立廻りを始めたる所へ巡査が通りかゝりて三人を警察署へ引き立て取調の末岩雄松太郎の兩人は留め置かれしが醉中とはいへ亂暴の男どもなる哉

荷物引替證紛失廣告

引替證番號（六二一號）　被服入洋函　十五個
引替證番號（六三三號）　被服入洋函　二個
大阪驛積込ミ　南大門驛揚ゲ
宛名韓國內部會計課
差出人大阪宇佐見辰次郎
右荷物引換證二通紛失致候間自今發見スルトモ無功トス

●淫賣をあげられて前科發見

此のほど南部警察署が密淫賣の檢擧を爲したる際明治町三丁目の綠亭の酌婦山口縣萩町江白生れの小谷ツル（二）が身分不相應の所持品あるより長野刑事が此奴胡亂と探つて見ると三十九年の七月に福岡縣久留米市小頭町一丁目の飲食店丸萬方に雇はれ中机の上にありし金五圓を窃取し同家を出でゝ同町の烟草商鶴飼方に奉公中縮緬の腰帶外一點（代十圓位）を窃取し同年十月に韓國に來り客年九月客と同衾中客の懷中せし金一圓を窃取したること發覺せしにより直ちに牢屋に打ち込まれたり

●犬から喧嘩

西署盤石二十三統朴元泰（三十八）は自分方の飼ひ犬が平常から隣りの犬と仲惡るく折に觸れて激しき嚙み合ひをなすこと屢々にて其の度毎に朴方の犬が負けて悲しい泣聲を舉げ家に逃げ來りては主人に訴ふるが如くなりけるが昨日も又々喧嘩を始め例に依りて散々に嚙み散らされしかば朴も畜生同士の事とはいへ何となく飼ひ主の奴等迄が面憎くなり、酒氣を帶びて其の家に暴れ込み物をも言はず突如に件の犬を毆り付け且つ飼主をも打擲せしかば爰に双方大立廻りを演せしが結局仲裁に入る人ありて無事收まりたり

●貨幣僞造犯人の逮捕

平壤警察署管內成川郡九龍場居鄭基周は平壤居洪淳彬、李春發金在鎔及び黃海道谷山郡鳳鳴場居鄭國珍と共謀し洪淳彬の居宅に於て本年二月以來引續き銀貨を僞造し之れを行使したる事發覺し共謀者何れも此の程平壤警察署に逮捕され僞造用機械十三組僞造五錢白銅貨九十四枚舊白銅貨三百六十三枚並に原料多數を押收されたり

●歌舞伎座の活動寫眞

去る十五日夜昌德宮勤政殿に於て皇帝皇后の天覽に供し斜めならざる御賞讚を蒙りたる京都横田商會の活動寫眞は今晩より向ふ一週間三好町歌舞伎座に於て開催の由なるが器械は新式にして且つ映畫も嶄新なれば定めて毎夜大入を極る事なるべし

●日曜說教

本日旭町二丁目名古屋城內メソヂスト教會に於ては午前九時日曜學校聖書研究十時禮拜及び木原牧師の說教あり午後七時半より木原牧師の傳道說教あり

●日曜講壇

日の出町京城基督教會にては本日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教午後七時半より傳道說教あり參聽隨意にて演題左の如し

神の啓示（午前）　米澤牧師
如何にして惑に克つべきか（夜）　岡田榮君
靈火宗教（夜）　米澤牧師

船客運賃値下

◎四月一日ヨリ左之通三等船客運賃ヲ引下ゲ申候

仁川ヨリ
一神戸大阪行 金八圓
一門司下ノ關行 金六圓
一宇品行 金七圓
一長崎行 金七圓
一鎭南浦行 金三圓
一龍岩浦新義州安東縣行 金五圓

京城ヨリ（京仁間汽車賃含ム）
一神戸大阪行 金八圓五十錢
一門司下ノ關行 金六圓五十錢
一宇品行 金七圓五十錢
一長崎行 金七圓五十錢

●御注意 團体ニハ特別ノ割引アリ 往復切符ハ復航二割引

大阪商船株式會社仁川支店（電話一二番）
京城本町二丁目角 林田商店切符發賣所（同二一〇番）
京城南大門通 慶田組出張所（電話六五番）（電話九四九番）

夏物新着荷大賣出し

空氣呼鈴並に室内電話

斬新流行の洋傘やねくたい其の他歐米雜貨各種荷着致し候間御觀覽旁々當店へ御來店行られん事偏に乞願奉り候敬具

韓國京城本町六丁目

歐米雜貨商 中塚支店

電話開通九百十八番

疊製造商並に表替

弊店儀各位の御引立を蒙り日增に繁榮に趣き候段難有御禮申上候就ては今回熟練の職工手揃候に付一層勉勵平素の御眷顧に酬ひ可申候間陸續御用命の程伏而奉懇願候 敬白

京城本町六丁目 金崎仁三郎

梅毒にて苦む御方は急き一劑試み給へ速に全治す藥効なき時は返金す

百治人 濕血丸 價一圓

しつけつがん、よこね、かんそう、ほねうづき、ようばい、そう、りん病、子宮病、じしつ、一切、がん、かさ、るいれき、たいどく等に特効あり

右藥は米國醫科大學教授博士（マンキリン氏）の明治二十五年十月新發明せられし良劑にして輕きは半廻り重き病は一二週用ゆれば速に全治す此藥は我日本にありふれたる梅毒藥とは異なり服用して決して口中いためず飲食物に禁止なし就業勤務に妨害なし身体衰弱せず頭髮ぬけず養生中他人は勿論家内のものにも知れる世話なく全治する事保證す但一週間分金一圓

▲賣捌き御望の方は御來車あれ

調劑本店 大阪 松本快活堂
韓國一手販賣 京城新町 松本儀祐
▲到る處の賣藥店にて販賣仕候

高等下宿 日の出館

京城明治町一丁目（漢城病院向筋入）

弊館は設備完全にして最も閑靜なり
弊館は叮嚀懇切を以て特色とす

謹告

エジプト莨及マニラ葉卷其他煙草類各種
西洋雜貨洋酒洋菓子並に支那糖菓及紅茶

謹告在韓清國人

大連安徽頭彩 金壹萬圓 第三十次（陰曆四月二十日 清曆三月二十日）開彩
湖北頭彩 金五萬圓 第七十五次（陰曆四月廿七日 清曆三月廿七日）開彩
江南頭彩 金壹萬圓 第十六次（陰曆四月十六日 清曆三月十六日）

定價
湖北彩票全紙金七圓五拾錢 小切八拾錢
江南彩票全紙金七圓 小切七拾五錢
大連彩票全紙金壹圓参拾錢
安徽彩票全紙金壹圓参拾錢

西洋雜貨 商 源源號
京城水漂橋二宮街

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 参百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通（電話四二〇）
株式會社 十八銀行 京城支店

本店 長崎市築町
支店 京城、仁川、木浦、元山、釜山、群山、鎭南浦、龍山、馬山
出張所 大阪、佐世保、五島、熊本、嚴原、壹岐
韓國 日本

其他日本韓國樞要之地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支）

寶ヲ顧客ノ目前ニ提供ス此機逸スベカラズ

●代理店開設御披露●
大景品付紀念大賣出し

弊店儀今回トルコ貝商會と代理店の契約仕候に依り其紀念として左記破格の直段にて來る十五日より大景品付大賣出し舉行仕候間陸々御用命御引立願上候

一シーデーインペリヤル 百本に付 九拾錢
一茶褐色スポート 百本に付 九拾五錢

右百本入一箱毎二景品券壹葉トス

景品目錄
一壹等 同 百圓
一貳等 同 参拾圓
一参等 同 貳拾圓
一四等 同 拾圓
自五等至七等 同 五圓
一自八等至拾等 商品券 参圓
一自拾壹等至参拾等 同 貳圓
一自三拾一等至八拾等 同 壹圓
一自八拾一等至百等 同 五拾錢
其他空籤ナシ

右は公平なる抽籤法を以て即時相渡可申上候也
當店の特色 景品は物品にあらず商品券に付何時にても隨意に御好の品にて差上可申候

京城本町六丁目
代理店 岡野商店
特約店 同町 堀商店
特約店 同町 中塚商店

銀行一般の業務を々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山、仁川、平壤、鎭南浦、安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店（電話五八番）

爲替取組先

畿内	東山道	山陽道	南海道	北海道	臺灣
二十七ヶ所	十三ヶ所	七十五ヶ所	二十三ヶ所	五ヶ所	二ヶ所

東海道	北陸道	山陰道	西海道	韓國	清國
二十八ヶ所	十ヶ所	十三ヶ所	三十ヶ所	九ヶ所	一ヶ所

西洋御料理 宴會
日本人倶樂部
京城南山町三丁目 電話（一二三番）

會席御料理並に仕出し

京城三好町歌舞伎座前
筑紫亭

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ

一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務
一貸金賣掛金等に關する債權取立事務
一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續
一會社組合銀行等の顧問

明治法律學校出身
京城本町一丁目
增本好三郎事務所（電話取次六二四番）

諸衙官用御品調達
各學校用品調達

營業科目

紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐デシン
穀物食鹽
織物染料

幷に委托販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
横濱 百七十六番 ビユーム、エンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
京城 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
京城 臺鹽合資會社食鹽特約店
山 ……

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町二丁目 電話新橋三九六二

開店御披露

模範靴製造販賣 堅牢



開店御披露トシテ本日ヨリ當分ノ内正價ノ一割引ヲ以テ大賣出仕候

京城明治町三丁目 北村商店

植木三十餘種大小數萬本
櫻、海棠、椿ノ如キハ將ニ蕾ヲ破リツヽアリ
和漢洋草花種子二百餘種アリ
庭園專門家數名設計植樹ノ依賴ニ應ズ

京城東署永禧殿前
京城植物園

開業廣告

○○內科 ○○外科 ○○眼科
○○婦人科 ○○小兒科 ○○花柳病科

今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應す

京城南大門外御成町
吉田病院
院主 吉田三省

韓國京城
株式會社 第一銀行

電話番號（營業用）一二番（國庫生六二番）
（當直用）（用度用）
（營業用三三一番 分析所用 六二二番）

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店、出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城
清國安東縣

右爲替取引先あり
は外內外各地重要なる場所に
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候



襖新調並ニ張替

京城旭町三丁目三ヶ月旅館前
表具師 高瀨光榮堂

日本澤庵

味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）

拾有八年の實驗 最新學術の應用

京城南山町三丁目
齒科醫 六等 動 楢崎東陽（日本人倶樂部向）

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

京城本町一丁目警察署前
明法學士 小川勝平事務所 電話四十一番

日本郵船株式會社 仁川八濱船出帆廣告

貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會（電話三九番）
京城南大門通 巴商店（電話三〇六番）

●釜山長崎門司神戸大阪行 山東丸 四月 日 後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨー號 四月廿九日 後四時出
　釧路丸 四月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月十四日 前五時出
　山東丸 四月廿八日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月廿三日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 四月廿六日 後三時出
●釜山出帆、元山浦鹽行 弘前丸 四月廿二日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ税關波止場ノ事